

森アートセンターギャラリー エキジビション・ディレクター 中山三善さん



「フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展」

フェルメールといえば「フェルメール・ブルー」といわれるほど美しい青がとても印象的です。

有名な《水差しを持つ女》でも女性のスカートの部分を始め、画面の至る所に美しい青の顔料「ウルトラマリン」が使われています。

実はこの顔料、ウルトラが「超」、マリンが「海」という意味です。つまり、ウルトラマリンとは「海を越えてやってきた顔料」という意味で、一説には金や銀よりも高価であったといわれています。

フェルメールはこのウルトラマリンを惜しげも無く使っているのがひとつの特徴です。

どうぞ皆さんの眼でお確かめください。

「フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展」は、六本木ヒルズ森タワー52階の「森アートセンターギャラリー」にて開催中です。

(2016.03.23)



当時の文化や人々の生活を紹介

この展覧会ではフェルメール、レンブラントを始め、フランス・ハルス、ヤン・ステーン、ピーテル・デ・ホーホなど、17世紀オランダを彩った画家たち48作家の作品を通して、当時の文化や人々の生活を紹介しています。

展示は全部で4章。1章は「ハーレム、ユトレヒト、アムステルダムーオランダ黄金時代の幕開け」、2章は「オランダ黄金時代」、第3章は「レンブラントとレンブラント派」、第4章は「オランダ黄金時代の終焉」と、それぞれ年代順・テーマに分けて作品が展示されています。

また、この展覧会は大きいサイズの作品だけでなく、小さな絵画が展示されているのも特徴のひとつです。たとえばヤン・ファン・ホイエンの《冬》は直径11.0cmの円形の絵画。オランダ黄金時代は富裕層だけでなく、ごく一般の家庭でも絵画が親しまれるようになった時代でした。このような小さな絵画はそれを証明しています。

この展覧会をご覧になれば、オランダ絵画が約100年の間にどのように発展し、当時の市民達にどのような楽しみ方をしていたのかを感じ取ることができるでしょう。ぜひ、一度足を運んでみてください。

開催概要

- 期間：2016年1月14日（木）～3月31日（木）
- 時間：10:00～20:00 ※入館は閉館30分前まで
- 場所：森アートセンターギャラリー（六本木ヒルズ森タワー52階）

- 入場料：一般 ¥1,600、高校・大学生 ¥1,300、4歳～中学生 ¥600
- 主催：TBS、朝日新聞社、森アートセンター
- ▶ フェルメールとレンブラント：17世紀オランダ黄金時代の巨匠たち展

プロフィール



石橋財団ブリヂストン美術館 学芸員、東京ステーションギャラリー 主任学芸員として、展覧会の企画・運営等を担当後、2002年に森ビル入社。2004年森アートセンターギャラリーの発足に伴い、同ギャラリー 運営室長に就任。2012年より森アートセンターギャラリー エキジビション・ディレクターに就任。